



秋の小岐須溪谷



Vol.14

鈴鹿の爬虫類

爬虫類とは、ヘビやトカゲ、カメの仲間のことです。今回の調査で、市内ではヘビ類が7種、トカゲ類が2種、カメ類が5種の合計14種確認されました。

アオダイショウ

日本固有種で日本では最大のヘビです。市内では河川やため池の周辺、神社林や林などで広域的に確認されました。



ジムグリ

全長は70cm～1mです。よく地面の中や石の下に潜るため、この名前が付いています。幼いときは写真のように赤と黒色の模様がよく目立ちますが、親になると茶褐色の目立たない色になります。ネズミ類を食べています。



ヒバカリ

全長約50cmと小さなヘビです。このヘビにかまれたら命がその日ばかりという迷信により、ヒバカリという名前が付いていますが、実際は無毒でおとなしいヘビです。水田や水路の周辺に生息し、カエルやオタマジャクシなどを食べています。



ニホンマムシ

全長50～80cmほどの毒ヘビです。鼻の穴と目の間にピットと呼ばれる赤外線探知器官があり、これで温度差を感知して獲物を捕えます。ほかのヘビと違って、人が近づいてもあまり逃げません。



ニホンカナヘビ

日本固有種で、市内では平地から山地まで広く見られます。トカゲに似ていますが、ニホンカナヘビは尾の長さが胴部分の2～3倍と長いことなどで区別できます。



ニホンイシガメ

日本固有種で、市内では御幣川上流部から海岸近くまで、河川やため池などに広く見られます。



ニホンスッポン

市内では北長太町、竹野町、野辺町、三宅町で確認されましたが、最近あまり見かけなくなりました。



広報すずか 2008年10月5日号



文化の秋・スポーツの秋にちなんで、市でもたくさん行事が行われます。10月11日(土)～13日(月)は「鈴鹿パルーンフェスティバル2008」、10月29日(水)～11月2日(日)は「第41回鈴鹿市美術展」、11月9日(日)には、11ページの情報館で紹介している「スズカ スポ・レク フェスティバル2008」など、こ

の他にも盛りだくさんです。皆さんも、これらの行事にお出かけいただき、文化の秋・スポーツの秋を満喫してはいかがでしょうか。また、テレビ広報すずか「ベルディ便り」でも10月10日(金)まで、文化・スポーツイベントについて紹介していますので、こちらもご覧ください。(弘)

表紙写真

さあ行こう
パルーンフェスティバル

撮影場所 鈴鹿川河川敷
撮影日 平成19年9月17日
撮影者 秘書広報課

9月1日からスーパーマーケットやドラッグストアなどの店舗でレジ袋の有料化が始まりました

